

早島支援学校

デジタルフェス

文部科学省 DX ハイスクール事業実践交流会

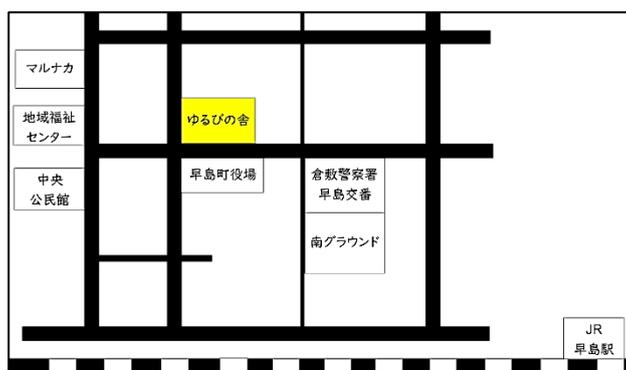
～二次案内～



ICTを使った学習(リモートワークの実習など)の紹介や製品の展示販売、デジタルアートの展示を行います。また、視線入力や入出力支援装置の紹介、パネルディスカッション、講演会も予定しています。たくさんの方々に生徒たちの頑張りを知っていただくとともに、デジタル技術を使った学校生活や社会参加の在り方について、みなさんと一緒に考えたいと思っています。

1 日時: 令和6年 12月 13日(金) 9:30~17:00

2 会場: 早島町町民総合会館
ゆるびの舎 研修室他
岡山県都窪郡早島町前潟 370-1



<アクセス>

JR 瀬戸大橋・宇野線「早島駅」より徒歩約 10 分

*自家用車でお越しの方は、ゆるびの舎のホームページで駐車場を御確認ください。

ゆるびの舎 HP

3 対象者: 保護者・企業・福祉関係者・支援機関・学校関係者等

4 後援: 早島町教育委員会、社会福祉法人早島町社会福祉協議会



5 日程

早島支援学校50周年キャラクター

時間	内容
9:00	受付
9:30	第1部開会
9:40	取組概要の説明
10:00	高等部の製品販売 デジタルミシンによる製品づくりの実演 temiロボットやオリヒメを活用した販売 視線入力・入出力支援装置の紹介や体験(temiロボットも体験可能)
11:40	休憩
12:50	第2部開会
13:00	生徒による実習報告会
13:30	学校からの実践報告
14:30	パネルディスカッション
15:55	講演
16:55	閉会

オンラインによる参加も可能です。
(午後のみ)



オリヒメ



temiロボット

「不可能を可能に ～リモートワークによる社会参加を目指して～」

橋本義肢製作(株)
事業推進課
福祉情報技術コーディネーター
石原 洋氏



パネリスト

岡山県立早島支援学校
卒業生

瀬川 奨希氏
【リモートワーク就労者】



(株)スタッフサービス・クラウドワーク
シニアアドバイザー

岡崎 正洋氏
【企業】



就労移行支援事業所
LITALICO ワークス岡山駅南
サービス管理責任者
永峰 愛弓氏
【福祉】



岡山障害者就業・生活支援センター
副所長

大西 陽介氏
【支援機関】



岡山県立早島支援学校
進路指導主事

佐藤 雄亮
【学校】



誰もが持つ力を活かせる社会とは・・・

障害があるから、持病があるから、そのような様々な理由で就労が困難であった子どもたちの願いがICTの急速な進化によって可能になる時代になってきました。家庭・企業・福祉・支援機関・学校等が連携し、誰もが夢を叶え、参加することができる社会の在り方について話し合います。

7 講演

「ICTを活用した自分らしい社会参加を目指して」

京都女子大学発達教育学部 教授

滝川 国芳氏



<講師紹介>

独立行政法人国立特別支援教育総合研究所総括研究員として病弱教育についての調査・研究に携り、現在も特別支援教育を専門に御活躍中です。特に、病弱・身体虚弱教育、発達障害教育、教育制度を研究領域とされています。病気や障害のある子どもたちが充実した生活を送ることができるように、ICTを活用した子どもの支援や教育制度の在り方についても研究を進めておられます。

<講演の概要>

病気や障害による活動の制約を軽減するためのICTの活用の有用性や社会参加を目指した多様な学びについて具体的な実践事例を交えながら話を聴くことができます。学習や生活に不安を抱く子どもたちの心の支えとなり、子どもたちが笑顔で社会参加できる選択肢が増えるよう一緒に学びましょう。

8 参加申し込み方法

右のQRコードを読み取り、申し込みフォームから申し込みをお願いします。

締切 令和6年11月14日(木)

*参集開催(1日・午前のみ・午後のみ)またはオンライン(午後のみ)による参加が可能です。

・午後よりオンラインで御参加のみなさまには、後日、視聴用のURLをメール送信でお知らせします。



早島支援学校デジタルフェス参加申込フォーム

9 参加費 無料

【お問い合わせ】

岡山県立早島支援学校

担当 西原佳代 江口美恵子

所在地 岡山県都窪郡早島町早島 4063

電話 086-482-2131

E-mail hayasima03@pref.okayama.jp (デジフェス専用)

学校 HP

